日本共産党　和歌山市会議員
ひめだ高宏ニュース
NO.1370
'21.12.21

よいお年をお迎えください

コロナ感染症のオミクロン株が出るなど安心できない中、年末を迎えました。今年も何かとお世話になりました。来年は参院選、市長選、知事選と続きます。新しい政治をめざしてがんばりますので、引き続きよろしくお願いします。体調に十分気を付けて、よいお年をお迎えください。

12月定例市議会報告

12月16日（木）12月定例市議会が終わりました。

日本共産党は承認案件1件と議案29件のうち3議案に中村あさと議員が討論をして反対。今号は議案の概要について報告します。

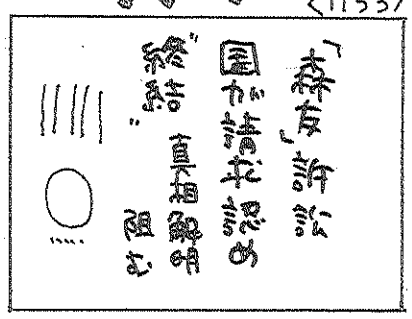
承認案件は、訴えの提起についての市長専決処分。

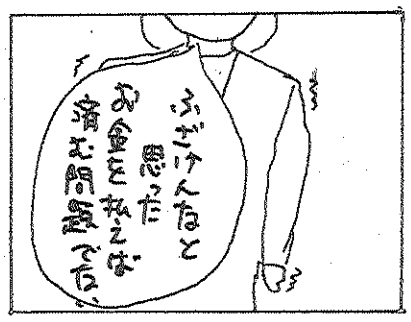
予算関係は、一般会計と水道事業会計の補正予算。条例関係は、出産一時金見直し、認可保育所利用者負担額算定の範囲変更、開発認可基準の見直し、長期優良住宅普及促進の法改正に伴う、条例の改正。

その他として、広瀬68号線初め36路線の市道認定と藤戸台76号線初め2路線の市道変更。

南出島地区集会所初め9地区会館、松下体育館初め3体育館、スポーツ広場、温水プール、つつじが丘テニスコート、ふれ愛センター、杭ノ瀬初め2共同浴場、夜間・休日応急診療センター、勤労者総合センター、片男波海水浴場駐車場、市駅前自転車駐車場初め4駐輪場、東公園、東部コミセ

フリーの人々 〈1153〉





次号予告とお知らせ

1月2日と9日付け赤旗日曜版が合併号となるため、次号の「ひめだニュース」は1月16日付け日曜版オリコミとなります。来年も、どうぞよろしくお願いいたします。

今週のフリーの人々（その316）

事実は小説より奇なり

今年フジテレビで放送されたドラマ「イチケイのカラス」は弁護士出身の裁判官・入間（いるま）みちお（竹野内豊）が毎回、捜査権を発動して事件の真実に迫りました。過去同局の「HERO（ヒーロー）」では検察官・久利生（くりう）公平（木村拓哉）が独自の捜査で真実に迫りました。久利生の「この裁判は○○さんの命の重さが問われている」というセリフが胸に響くドラマでした。

森友学園への国有地売却をめぐり、公文書の改ざんを強要され自死した近畿財務局の赤木さんの奥さんが損害賠償で国を訴えた訴訟が国の「認諾（にんだく）」で突如終結されました。アベ首相への忖度（そんたく）が公文書の改ざんを生み、指示した役人は出世し、真実は隠され、関係者は誰も責任を取らず、尻ぬぐいに税金が使われる。ふざけんな！と私も言いたい。

ひめだ高宏

ン初め6コミセンの指定管理者の指定。

工事関係は、坂田磯の浦線道路新設改良工事その9、市道加太88号線災害復旧工事の2件。

物品購入関係は、心臓マッサージシステムの購入。

人事関係は、人権擁護委員候補者2名の推せん。

12月市議会 補正予算の概要

一般会計

一般会計の補正予算は、65億9975万6千円の増額で、その主なものは、18歳までの子どもを養育している一定の所得の世帯に対し、子ども一人当たり10万円支給する53億2996万6千円、コロナワクチンの3回目接種体制整備に3億5474万7千円、コロナ感染症入院の公費負担1億5608万9千円、PCR検査の公費負担1億2976万4千円、南コミセンの図書室設置に8104万8千円、加太81号線の災害復旧7千万円、寺田川線設備修繕補助に2839万6千円、ふれあいセンター空調設備2160万4千円、中小企業サポート補助1620万円、保健所のコロナ関連経費1552万円、ため池ハザードマップ1千万円となっています。

水道事業

水道事業の補正予算は、22億8398万4千円の増額で水管橋復旧費用です。

こんにちは日本共産党です

国交省データ書き換え

日本共産党の志位和夫委員長は16日、国会内で記者会見し、国土交通省が「建設工事受注動態統計」のデータを書き換えて二重に計上していた問題について、「誰が何のためにこういう事態を引き起こしたのかが明らかにされる必要がある。国会で徹底的な究明が必要だ」と表明。

同統計は建設業の毎月の受注動向を示す国の基幹統計の1つです。志位委員長は、①書き換えと二重計上が13年以降、第2次アベ政権の時期に行われた②二重計上で国内総生産（GDP）が水増しされた2点が明らかになっていると指摘。「今回のデータ書き換え・二重計上はアベノミクスの粉飾が目的だったのではないか、経済政策をつくる基本数値が改ざんされているとしたら深刻な問題であり究明が必要」と述べました。

中村あさと議員が反対討論

日本共産党市議団は、議案5号、18号、25号の問題点を中村あさと議員が討論で指摘して反対。

議案5号（一般会計補正予算（第7号）中）都市計画費の委託料202万4千円はJR東口の市所有の駅前広場を民間事業者に活用させる計画づくりのための委託料ということですが、市の主体性に欠けた不透明な計画であるため賛成できません。

また以下に述べる議案にかかわる債務負担行為の補正予算にも反対します。

「シルバー人材センターに対する支援を求める意見書」に関する請願 可決

和歌山市シルバー人材センターから消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）導入が事業運営を圧迫するため適切な措置を求めること、その件に対し国に意見書を出すことの請願がありました。

日本共産党は免税業者に課税を強制するインボイス制度に反対のため、制度導入を前提とした請願の紹介議員、意見書の提出者にはならずに賛成しました。

議案18号は、つつじが丘テニスコートをミズノグループに、議案25号は市駅前自転車駐車場初め4駐輪場を(有)ジェイイーエス、大場興業(株)、富士警備保障(株)に指定管理の指定を行わせるものです。

テニスコートは応募が1社で競争原理が働いていない上に、利用率や稼働率の目標や実績が答えられないなど市の主体性が欠けています。駐輪場は市民の利便性、安全安心のためにも直営で行うべきです。